

2022年6月3日

各 位

会 社 名 ミナトホールディングス株式会社
代 表 者 代表取締役会長兼社長 若山 健彦
(コード：6862、東証スタンダード)
問 合 せ 先 取締役経営企画部門長 三宅 哲史
(TEL 03-5847-2030)
<https://www.minato.co.jp/>

(訂正)「2022年3月期 決算説明資料」の一部訂正について

2022年5月13日に公表いたしました「2022年3月期 決算説明資料」に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

本日公表の「(訂正・数値データ訂正)「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について」でお知らせしたとおり、「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の開示後の会計監査人の監査の過程におきまして、収益認識に関する会計基準等の適用による収益の認識の一部に誤りがあること等が判明し、記載内容の一部に訂正すべき事項が生じたので、「2022年3月期 決算説明資料」についても、当該数値に関連する箇所を訂正いたします。

2. 訂正の内容

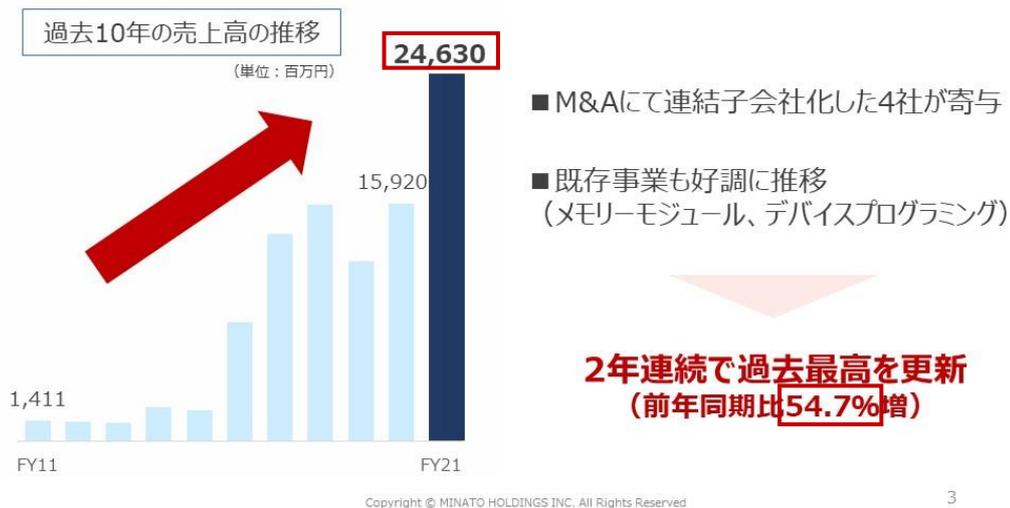
詳細は別紙をご参照ください。なお、訂正箇所には赤い囲みを付して表示しております。なお、当社ウェブサイトに掲載の「2022年3月期 決算説明資料」は、訂正後の内容を反映しております。

(https://www.minato.co.jp/ir/library/settlement_report/)

以 上

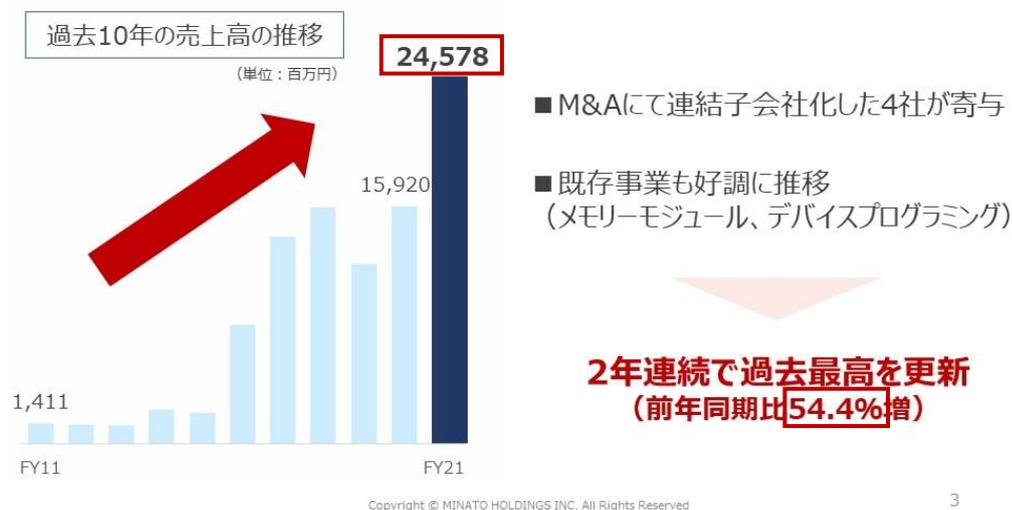
2022年3月期 通期決算ハイライト①

2年連続で過去最高の売上高を更新



2022年3月期 通期決算ハイライト①

2年連続で過去最高の売上高を更新



2022年3月期 通期決算ハイライト②

当期純利益※は上場来で過去最高

※親会社株主に帰属する当期純利益



2022年3月期 通期決算ハイライト②

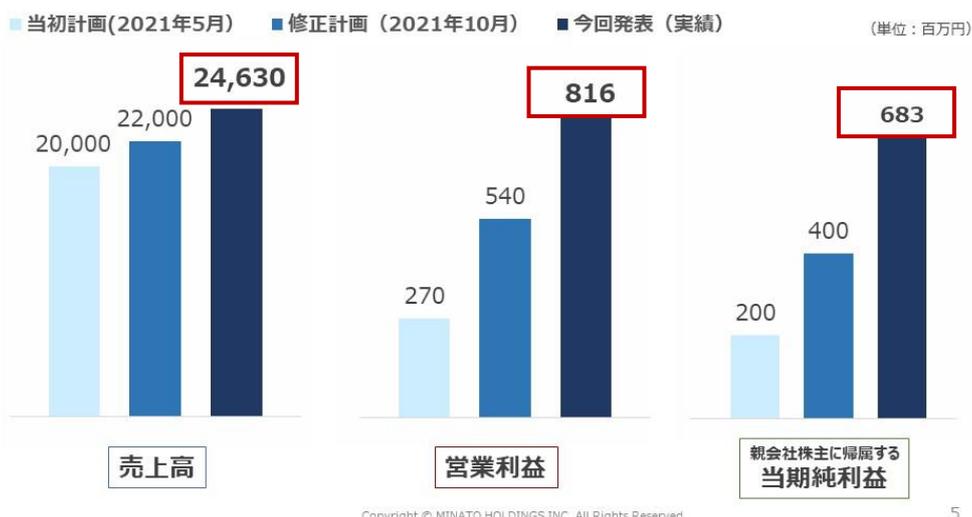
当期純利益※は上場来で過去最高

※親会社株主に帰属する当期純利益



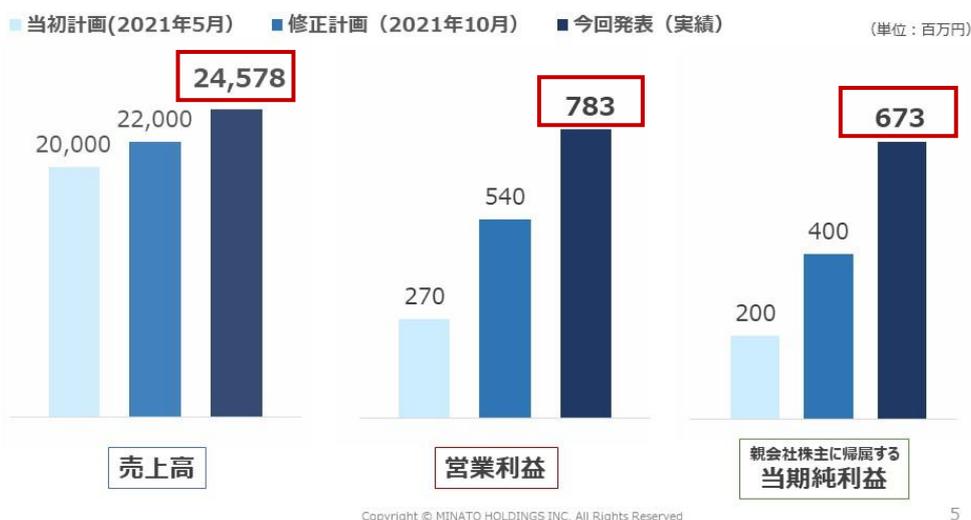
2022年3月期 通期決算ハイライト③

1年間で2度の上方修正を実施



2022年3月期 通期決算ハイライト③

1年間で2度の上方修正を実施



(訂正前) 7 ページ

連結業績概要①／損益計算書

M&Aによるグループ企業の増加が連結業績に寄与。
既存事業も好調に推移し、上場来で最高の売上高、利益を計上。

(単位：百万円)

	FY2020	FY2021	増減額	増減率 (%)
売上高	15,920	24,630	8,709	54.7
売上総利益	2,666	4,177	1,510	56.6
販管費	2,446	3,360	913	37.3
営業利益	220	816	596	271.2
営業外損益	△20	△1	18	-
経常利益	199	815	615	308.1
特別損益	368	20	348	△94.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	467	683	216	46.3

Copyright © MINATO HOLDINGS INC. All Rights Reserved

7

(訂正後)

連結業績概要①／損益計算書

M&Aによるグループ企業の増加が連結業績に寄与。
既存事業も好調に推移し、上場来で最高の売上高、利益を計上。

(単位：百万円)

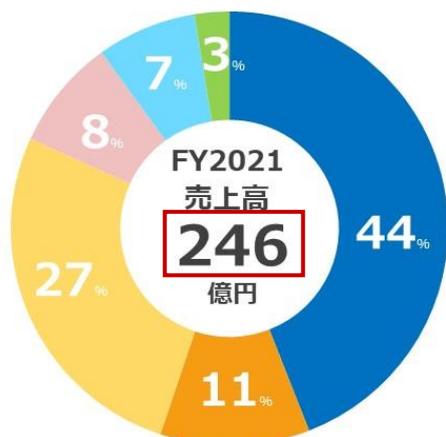
	FY2020	FY2021	増減額	増減率 (%)
売上高	15,920	24,578	8,658	54.4
売上総利益	2,666	4,143	1,477	55.4
販管費	2,446	3,360	913	37.3
営業利益	220	783	563	256.0
営業外損益	△20	△1	18	-
経常利益	199	781	581	291.3
特別損益	368	20	△348	△94.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	467	673	206	44.2

Copyright © MINATO HOLDINGS INC. All Rights Reserved

7

連結業績概要②／セグメント別売上高

各セグメントの売上割合



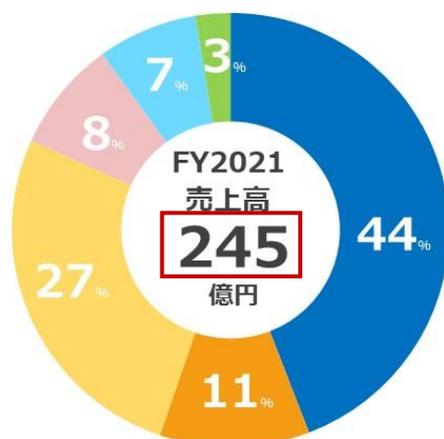
セグメント別の売上高

(単位：百万円)

メモリーモジュール	10,978
テレワークソリューション	2,754
デジタルデバイス周辺機器	6,640
デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション	2,058
システム開発	1,839
その他	641

連結業績概要②／セグメント別売上高

各セグメントの売上割合



セグメント別の売上高

(単位：百万円)

メモリーモジュール	10,978
テレワークソリューション	2,754
デジタルデバイス周辺機器	6,589
デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション	2,058
システム開発	1,839
その他	641

(訂正前) 9 ページ

連結業績概要③／セグメント別営業利益（累計）

メモリーモジュール事業の大幅増益とともに、デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション事業の業績が大きく回復。

(単位：百万円)

営業利益	FY2020	FY2021	増減額
メモリーモジュール事業	446	726	280
テレワークソリューション事業 [※]	—	97	—
デジタルデバイス周辺機器事業 [※]	—	△70	—
デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション事業	△61	418	480
システム開発事業	58	130	72
その他事業	0	6	6
全社費用	△424	△493	68
営業利益	220	816	596

※テレワークソリューション・デジタルデバイス周辺機器の両事業につきましてはFY20/3Qから連結の範囲に含めており比較が困難であるため、前年同期比を記載しておりません。

Copyright © MINATO HOLDINGS INC. All Rights Reserved

9

(訂正後)

連結業績概要③／セグメント別営業利益（累計）

メモリーモジュール事業の大幅増益とともに、デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション事業の業績が大きく回復。

(単位：百万円)

営業利益	FY2020	FY2021	増減額
メモリーモジュール事業	446	726	280
テレワークソリューション事業 [※]	—	96	—
デジタルデバイス周辺機器事業 [※]	—	△103	—
デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション事業	△61	418	480
システム開発事業	58	130	72
その他事業	0	6	6
全社費用	△424	△493	△68
営業利益	220	783	563

※テレワークソリューション・デジタルデバイス周辺機器の両事業につきましてはFY20/3Qから連結の範囲に含めており比較が困難であるため、前年同期比を記載しておりません。

Copyright © MINATO HOLDINGS INC. All Rights Reserved

9

連結業績概要④／貸借対照表

メモリーモジュール事業及びデジタルデバイス周辺機器事業での売上債権及び在庫の増加と、パイオニア・ソフトの連結により、総資産が拡大

(単位：百万円)

	FY20末	FY21末	増減
資産の部			
流動資産	10,138	12,863	2,725
現金及び預金	2,382	2,737	355
売上債権	3,504	4,731	1,227
商品及び製品	2,412	3,327	914
原材料及び貯蔵品	789	1,104	315
前渡金	86	48	△ 37
固定資産	2,486	2,468	△ 17
有形固定資産	1,334	1,295	△ 38
無形固定資産	283	281	△ 1
（うち、のれん	238	242	4)
投資その他の資産	869	891	22
（うち、投資有価証券	429	263	△ 165)
資産合計	12,625	15,332	2,707

商品及び製品、原材料及び貯蔵品

メモリーモジュール事業 +541百万円

テレワーク・デジタルデバイス +328百万円

エレクトロニクス設計事業 +147百万円

有形固定資産

エレクトロニクス設計事業 +65百万円

土地建物売却 △112百万円

無形固定資産

パイオニア・ソフト他ののれん +37百万円

のれん償却 △33百万円

投資その他の資産

パイオニア・ソフト他敷金他 +67百万円

投資有価証券売却・時価評価等 △165百万円

Copyright © MINATO HOLDINGS INC. All Rights Reserved

10

連結業績概要④／貸借対照表

メモリーモジュール事業及びデジタルデバイス周辺機器事業での売上債権及び在庫の増加と、パイオニア・ソフトの連結により、総資産が拡大

(単位：百万円)

	FY20末	FY21末	増減
資産の部			
流動資産	10,138	12,891	2,752
現金及び預金	2,382	2,737	355
売上債権	3,504	4,709	1,205
商品及び製品	2,412	3,345	932
原材料及び貯蔵品	789	1,104	315
前渡金	86	48	△ 37
固定資産	2,486	2,474	△ 12
有形固定資産	1,334	1,295	△ 38
無形固定資産	283	281	△ 1
（うち、のれん	238	242	4)
投資その他の資産	869	896	27
（うち、投資有価証券	429	263	△ 165)
資産合計	12,625	15,365	2,739

商品及び製品、原材料及び貯蔵品

メモリーモジュール事業 +541百万円

テレワーク・デジタルデバイス +346百万円

エレクトロニクス設計事業 +147百万円

有形固定資産

エレクトロニクス設計事業 +65百万円

土地建物売却 △112百万円

無形固定資産

パイオニア・ソフト他ののれん +37百万円

のれん償却 △33百万円

投資その他の資産

パイオニア・ソフト他敷金他 +67百万円

投資有価証券売却・時価評価等 △165百万円

Copyright © MINATO HOLDINGS INC. All Rights Reserved

10

連結業績概要⑤／貸借対照表

流動資産増加に伴う借入金増加等により自己資本比率は25.5%、純資産額は前期末比で4.8億円増

(単位：百万円)

	FY20末	FY21末	増減
負債の部			
流動負債	6,992	9,634	2,641
支払手形及び買掛金	1,424	2,030	605
短期借入金	3,540	5,520	1,980
1年以内返済長期借入金	610	462	△147
固定負債	2,113	1,698	△415
長期借入金	1,772	1,460	△311
負債合計	9,105	11,332	2,226
純資産の部			
株主資本	3,347	3,796	449
その他の包括利益累計額	75	113	38
(うち、その他有価証券評価差額)	153	99	△53
新株予約権	88	48	△40
非支配株主持分	7	41	33
純資産合計	3,519	3,999	480
負債純資産 合計	12,625	15,332	2,707

短期借入金	
ホールディングス	+1,900百万円
エクスプローラ	+80百万円
長期借入金	
ホールディングス	+180百万円
アイティ・クラフト	+29百万円
約定弁済等	△668百万円
株主資本	
当期純利益*1	+683百万円
株主配当	△69百万円
自己株式	△85百万円
利益剰余金*2	△82百万円
その他の包括利益累計額	
利益剰余金への振替*2	+82百万円
有価証券評価差額	△54百万円

※1 親会社株主に帰属する当期純利益
※2 同一事象に係る同額での振替処理

連結業績概要⑤／貸借対照表

流動資産増加に伴う借入金増加等により自己資本比率は25.2%、純資産額は前期末比で4.4億円増

(単位：百万円)

	FY20末	FY21末	増減
負債の部			
流動負債	6,992	9,704	2,711
支払手形及び買掛金	1,424	2,030	605
短期借入金	3,540	5,520	1,980
1年以内返済長期借入金	610	462	△147
固定負債	2,113	1,698	△415
長期借入金	1,772	1,460	△311
負債合計	9,105	11,402	2,296
純資産の部			
株主資本	3,347	3,759	412
その他の包括利益累計額	75	113	38
(うち、その他有価証券評価差額)	153	99	△53
新株予約権	88	48	△40
非支配株主持分	7	41	33
純資産合計	3,519	3,963	443
負債純資産 合計	12,625	15,365	2,739

短期借入金	
ホールディングス	+1,900百万円
エクスプローラ	+80百万円
長期借入金	
ホールディングス	+180百万円
アイティ・クラフト	+29百万円
約定弁済等	△668百万円
株主資本	
当期純利益*1	+673百万円
株主配当	△69百万円
自己株式	△85百万円
利益剰余金*2	△82百万円
会計基準の変更による影響額	△26百万円
その他の包括利益累計額	
利益剰余金への振替*2	+82百万円
有価証券評価差額	△54百万円

※1 親会社株主に帰属する当期純利益
※2 同一事象に係る同額での振替処理

テレワークソリューション事業

Web会議ライセンスやWebカメラは堅調に推移。オフィス据え置き型デジタル会議専用端末は半導体部品のひっ迫による調達の遅れもあり、伸び悩む



デジタルデバイス周辺機器事業

液晶ディスプレイが大きく伸びた一方、半導体不足の影響で各種部材の調達コストが上昇したことや、輸入及び物流コストの高騰等により営業損失を計上



※両事業につきましてはFY20/3Qから連結の範囲に含めており比較が困難であるため、前年同期比を記載しておりません。

テレワークソリューション事業

Web会議ライセンスやWebカメラは堅調に推移。オフィス据え置き型デジタル会議専用端末は半導体部品のひっ迫による調達の遅れもあり、伸び悩む



デジタルデバイス周辺機器事業

液晶ディスプレイが大きく伸びた一方、半導体不足の影響で各種部材の調達コストが上昇したことや、輸入及び物流コストの高騰等により営業損失を計上



※両事業につきましてはFY20/3Qから連結の範囲に含めており比較が困難であるため、前年同期比を記載しておりません。

2023年3月期 通期連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2023年3月期	22,000	540	520	400
<ご参考> 2022年3月期実績	24,630	816	815	683

<FY2022連結業績予想のポイント>

- 不透明な半導体需給や価格の状況、原材料価格や輸送費用の上昇の影響、顧客企業における部材確保や設備投資等の一服を想定
- 当社本社およびグループ各社の東京本社を集約・集結する予定で、一時的な移転関連費用を見込む

2023年3月期 通期連結業績予想

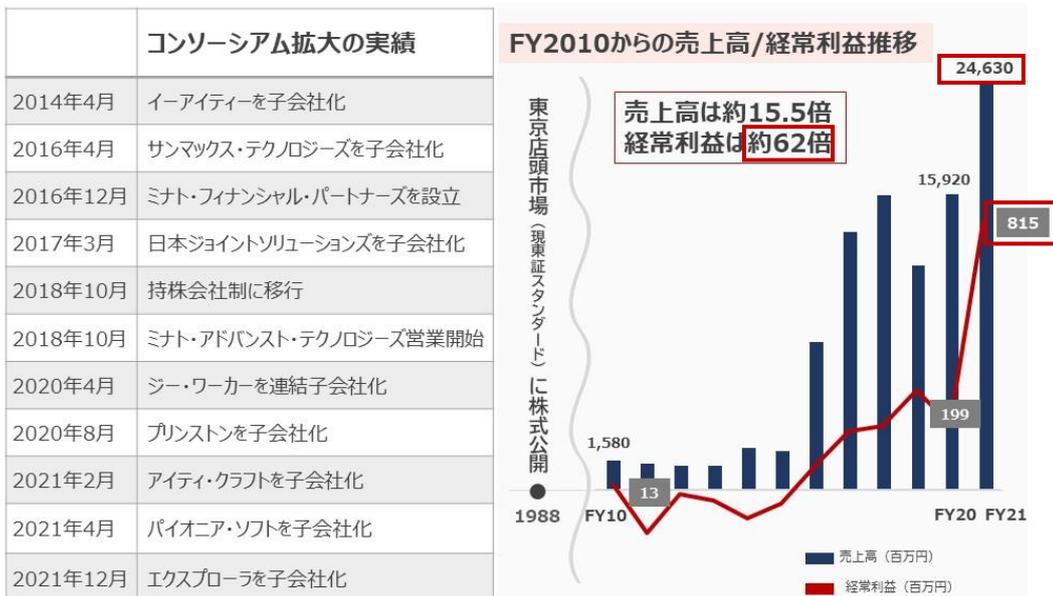
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2023年3月期	22,000	540	520	400
<ご参考> 2022年3月期実績	24,578	783	781	673

<FY2022連結業績予想のポイント>

- 不透明な半導体需給や価格の状況、原材料価格や輸送費用の上昇の影響、顧客企業における部材確保や設備投資等の一服を想定
- 当社本社およびグループ各社の東京本社を集約・集結する予定で、一時的な移転関連費用を見込む

<ご参考> コンソーシアム拡大の実績



<ご参考> コンソーシアム拡大の実績

